



校訓「自主」「練磨」「創造」

〔篠栗北中HP (Facebook)〕を公開中!!

生徒数327名

	男子	女子	合計
1学年	73	48	121
2学年	61	49	110
3学年	50	46	96

<感謝と共生>

(令和4年1月1日～令和4年1月31日)

- 学校での「濃厚接触者等の特定について」
1月28日(金)保健所のひっ迫状況が厳しくなり、「濃厚接触者等の特定」は、学校が行うようになりました。下記に特定の条件を記載しています。篠栗町では、学校医・教育委員会が判定します。
なお、濃厚接触者等に判定された方及び同居の方は、自宅待機(7日間)中は健康観察をしっかり行ってください。

感染者の発症2日前から、下記の①又は②のいずれか一つに該当すれば候補と考えます。

①濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つば等)に直接接触した可能性の高い者(1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合があります)
- ・手で触れることの出来る距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なし(※)で、感染者と15分以上の接触があった者(例えば、感染者と会話していた者)
※必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

②濃厚接触者周辺の検査対象となる者の候補

- ・感染者からの物理的な距離が近い、又は物理的な距離が離れていても接触頻度が高い者等(感染者と同一の学級の児童生徒等)・大声を出す活動、呼吸が激しくなるような運動を共にした者等(感染者と同一の部活動に所属する児童生徒等)
- ・感染者と食事の場や洗面浴室等の場を共有する生活を送っている者等(感染者と同一の寮で生活する児童生徒等)
- ・その他、感染対策が不十分な環境で感染者と接触した者等
※学校において上記①②の候補の速やかな特定が困難な場合は、判明した感染者が1人でも、感染状況によっては、原則として当該感染者が属する学級等の全ての者を検査対象の候補とすることが考えられる。

文部科学省ガイドライン

〇1月17日(月)～「挨拶運動」

1月17日(月)から、ブロックによる「挨拶」運動を行いました。コロナ禍で少しずつ、元気がなくなってきた学校を盛り上げようと、今週末で行います。

よく「笑顔が免疫を高める」と、専門家は言われます。自らも笑顔の生活を心がけてください。



〇1月17日(月)

阪神・淡路大震災 27周年を迎えて

皆さんは知っていますか。1月17日は、「防災とボランティアの日」。27年前の1月17日 5時46分に発生した阪神・淡路大震災で学生を中心としたボランティアが活発化したことを機に、ボランティア活動への認識を深め、災害の備えの充実強化を図る目的で制定されました。



1923年に起きた関東大震災、9月1日は「防災の日」。1959年9月26日の伊勢湾台風を機に、防災対策を見直そうと制定されました。

そして皆さんが生まれていた、2011年3月11日 14時46分に発生した東日本大震災は「いのちの日」。健康、医療、災害時の体制などを考える機会にしようとして記念日とされました。

誰でも、忘れられない日、忘れてはならない日があると思います。国などが制定した日であっても、過去の出来事や大切な人々を思い、心を新たにしてほしいと思います。

2020年1月3日 国内の新型コロナウイルス感染症第一例が出ました。それから約2年。今、私たちはその感染症という災害と戦っています。

まだまだ、コロナ禍は続きますが、その中で得た、いろいろな学びを大切に、生活していきましょう。



2月行事(予定)

2日(水)	県公立推薦入試事前指導
3日(木)	私立前期入試事前指導
4日(金)	私立前期入試・入学説明会・1・2年生学力分析テスト
7日(月)	自治・専門委員会 県公立推薦入試
10日(木)	3年生期末考査
12日(土)	私立後期入試
15日(水)	挨拶の日
17日(木)	1・2年生期末考査
18日(金)	1・2年生期末考査 がん教育講演会
24日(木)	PTA評議委員会
25日(水)	自治・専門委員会
26日(土)	PTA花植活動
※定休日	4・10・14・21・28
※部休日	4・10・14～17・21・28
(土・日1回休)	※部活動完全下校 17:30

※裏面に続きます。

3学期始業式 生徒代表の言葉(抜粋)

3年2組 原田 青空

〈敬称略〉1年3組 高倉 楓

私が2学期に頑張ったことは二つあります。

一つは、「88タイム」です。Hコースの代表として文化発表会で発表し、地域に貢献することができました。

二つは、選挙管理委員です。

私は2年生になったら、生徒会の書記になりたいと考えているので、近くで見て勉強したいと思い、選挙管理委員に立候補しました。思ったよりも仕事が大変でしたが、無事に生徒会役員が決定したのでよかったです。

次に、1年生が特に力を入れて頑張ったことが二つあります。

一つは、ふれあい教室です。みんなで協力して互いに高め合うことを目標に2分前着席や給食の食べ残しを減らす呼びかけを行いました。

二つは、体育会です。はじめは声が小さかったけれど、徐々に慣れてきて大きな声を出せるようになりました。そして素晴らしい体育会をつくることができました。

しかし、1年生にはまだ課題もあります。行事や取組があるときだけでなく、いつでも2分前着席ができるようにしたいです。そして、ただ、席に着くだけでなく読書やワークなどをして静かに待っているようにしたらよいと思います。

このことを踏まえて、3学期も1年生全員で頑張ります。



2年1組 泉 ひまり

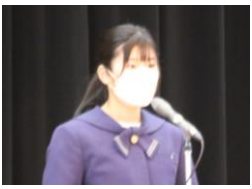
私は、3学期に三つのことを頑張ります。

一つは、修学旅行です。新型コロナウイルスの影響により、脅威は変わりませんが、感染予防の徹底により、体育会や文化発表会など多くの学校行事を行うことができたように、三月に控える修学旅行も、延期や場所の変更などはあっても、修学旅行に行けることに感謝をし、修学旅行を通して、協調性を高め、交流の輪を広げることで二学年をさらにより良くしていきたいと思います。

二つは、勉強です。2学期の中間テストのとき、勉強の方法や勉強時間の確保に後悔が残り、悔しい思いをしました。そこで2学期の期末テストでは、前回の悔しさをバネに、志ノートの中身の充実や自分にあった勉強方法を見つけることを意識しました。その結果、期末テストでは中間テストと比べ、大きく点数が上がった教科が多く、達成感が得られました。今後も中間テストでの後悔や期末テストでのうれしさを忘れずに勉強し、3年生では、行きたい高校の選択肢を増やせるように頑張ります。

三つは、生徒会役員のみなを支えることです。私は、2学期に選挙管理委員会に入り、選挙を支える役目につきました。そこで立候補者が朝早くから選挙運動をしたり、立会演説会に向けて練習をしたりする姿を目にしました。このことから、私は新生徒会のみなのフォロワーになろうと決意しました。

これから、他学年と交流しともに成長できる篠栗北中学校を生徒会役員の八人と全校生徒、先生方と作り上げ、伝統を受け継ぎながら新しい風を吹かせられるように支えていきたいと思っています。



3学期は三年生にとって進路が決定するとても大事な学期となります。自分の将来の夢を叶えるための第一歩である高校受験。ほとんどの人が初めての受験というプレッシャーがあると思います。しかし、自分だけで考え込まず、9年間一緒に過ごしてきた仲間と支え合って、全員で受験という壁を乗り越えていきましょう。全員の受験が終わるまで勉強で分からないところを教え合えるような授業の雰囲気これから継続していきましょう。

そして、私たちには、今学期、卒業という大切な節目の式を控えています。2学期に三年生全員、一人一人が力を発揮し、協力し合って作りあげた文化発表会のように、卒業式も学年全員で力を合わせ、最高の卒業式を作りあげましょう。

私たち三年生が篠栗北中で過ごせる日はあと40日もありません。残りの期間でできることは、1、2年生に私たちが学んだことを伝えていくことだと思います。あいさつや黙働清掃はもちろん、5分前行動、2分前着席、休み時間と授業時間の気持ちを切り替えることなど、最高学年として行動で表し、後輩の良き手本となっていくことが大切です。

三年生の学年目標は、「TODAYを大切に」です。
T:楽しむ時は楽しみ、O:思いやりをもち、D:伝統である、A:挨拶を大切に、Y:やる気をもって。残り少ない学校生活を充実させましょう。



生徒会代表 成田 芽生

これから1年間生徒会役員として行っていきたいことを話していきたいと思っています。

今まで私が北中で過ごしてきた中で、他学年の人と壁があると強く感じます。私は生徒会で行っていく活動を通して、みなさんには、北中の生徒同士の壁を取り除き、もっと輪を広げていってほしいと考えています。学級や学年といった見えない壁を取り除き、普段接点がない人でも、関わることで新しい発見や新鮮な体験ができるということ、皆さんに知ってほしいと思っています。今年度は体育発表会の実施により、他学年の人と関わる機会が昨年度より多くあったと思います。しかし、他学年の人と関わる機会は、体育発表会以降あまりなかったように感じました。私は、上級生は下級生と、下級生は上級生と接することで、普段関わらない人と関わることの楽しさや魅力に気づき、交流がなかった人と話したい、知りたいたいと思ったり、誰とでも分け隔てなく関わるできるようになりたいと思います。そこで、あいさつ運動の分け方を増やしたり、私が掲げた公約である「一緒にやります」の活動を行ったりして、今までより他学年の人と関わる機会を増やしていきたいと思っています。みなさんに人との関わり大切さや楽しさを知ってもらい、初めて関わった人でもお互いを認め合えるような活動を行っていきます。

3学期は来年度に向けての準備期間とよくいわれます。3学期が終わると、1年生は後輩ができ、2年生は最高学年に、そして3年生は卒業です。1年の終わりをすっきりと迎えるためにも、2学期を振り返って反省点を見つけ、日頃の生活に生かしていきましょう。

私は、最高学年になることや、生徒会役員であることを常に意識しながら後悔のないように頑張りたいです。

